

代表討論に立つ
石田和子議員



このまちとともに



入所不承諾 3007人 認可保育園の緊急増設を求める

予算審査特別委員会で3月8日質問しました(▼は局長答弁)

2月初め、各区役所から3007人(高津区583人)に「入所保留通知」(不承諾)が発送され、「育休を延長して第8希望まで申請したのにだめでした」「区役所に相談しやうと認可外を探したが3歳の時にまた保活と思うと厳しい」「認可外からも断られ八方ふさがり」。区内の認可保育園では、1歳児12人の枠に102人、4人枠に61人・15倍の申請者が殺到する園があるなど、入所できない実態が広がっていると指摘し対策を質問。

「安心子ども基金」等を活用し、緊急に整備の上乗せを!

新年度予算の定員増が1390人ではとても足りません。さらに、5年間の事業計画「子どもの未来応援プラン」の計画より、既に1103人分整備が遅れていると指摘。

①国の「保育所等整備交付金」や県の「安心子ども基金」などを活用して、整備を上乗せすべきと質問

▼こども本部長は「必要な場合には迅速な対応を図ってまいりたい」と答弁。

②「子どもの未来応援プラン」の事業計画を保育ニーズの増加に見合う計画に見直すべきと質問。

▼「2017年度に再度見直すことにしている」と答弁。

代表討論で緊急対策と真の待機児解消を主張

議会最終日、党を代表して行なった討論で石田議員は「①緊急対策として必要な整備を図ることを求め、②急増する保育ニーズをしっかり反映した計画に見直し、③真の待機児童解消の為に、待機児童の定義を見直し、④これまで繰返し求めてきたように、入所申請して入所できなかった人数を待機児童として認め、

ニーズに見合う整備計画をたてるところを強く求めました。

平成28年4月1日入所市内保育所 申し込み状況

区名	平成28年度分 (2/1現在)			平成27年度分		
	利用申請 児童数	内定数	入所保 留数	利用申請 児童数	内定数	入所保 留数
川崎区	1,095	785	310	1,074	842	232
幸 区	1,151	850	301	986	718	268
中原区	2,035	1,172	863	1,854	1,114	740
高津区	1,566	983	583	1,487	938	549
宮前区	1,387	1,009	378	1,319	901	418
多摩区	1,202	799	403	1,129	781	348
麻生区	682	513	169	716	535	181
全市計	9,118	6,111	3,007	8,565	5,829	2,736

東急溝の口駅にホームドア の設置を

▼大井町線ホームは3月末設置!



稼働前の3月22日、大井町線ホームドア

▼田園都市線ホームは2017年度設置予定!と答弁

石田議員は、混雑が激しい大井町線と田園都市線の溝の口駅ホームドアの早期設置を求め、乗降客10万人以上を対象に市が昨年度創設したエレベータ設置への補助制度について質問しました。

▼まちづくり局長は「3月末」「2017年度」設置と答え、補助制度の対象は下記の駅。国3分の1県・市が12分の1ずつ。それ以外は鉄道事業者の負担との答弁がありました。

補助制度の対象9駅は以下のとおり

JR東日本:川崎、武蔵小杉、溝の口ノ口、登戸
東急電鉄:武蔵小杉、溝の口
小田急電鉄:登戸、新百合ヶ丘
京急電鉄:京急川崎

石田議員は、JR武蔵溝ノ口駅はじめ対象駅の早期設置を求め、特にJR武蔵小杉駅は、転落や接触事故の危険が高く、早期設置を質問。

▼局長は優先的に設置するようJR東日本に引き続き要望し協議すると答弁。

津田山駅の橋上駅舎化の 取組状況は?

▼「駅舎北側の事業用地を昨年12月に取得。現在、既存駐輪場及び下作延小校庭の遊具の移設に向け調整中。

JR東日本と2016年度に施行協定を締結し、その後、工事着手にむけ同社や関係者と協議調整を進める。住民説明会は施行協定後と工事着手前に開催すると答弁。

なお、12月議会で、石田議員に対して、2016年度工事着手、2019年度の工事完了、自由通路と橋上駅舎の供用開始は2018年度をめざすと答弁しています



公衆浴場が危機！振興策を質問

公衆浴場法にもとづく、公衆浴場いわゆる銭湯の営業は10年前82、現在48力所と激減し、入浴の場がなくなり困っているとの訴えが寄せられ、石田議員は川崎浴場組合連合会から実態や御意見を伺い、日本の文化であり、公衆衛生、交流の場、福祉、健康増進に寄与している銭湯の振興策の拡充を質問。

▼経済労働局長は、利用者の減少、設備等の老朽化、後継者問題等大変厳しいと認識している。「設備整備補助金」「利用者促進事業補助金」などで支援している。利用者獲得のため、大田区、太田浴場組合と連携しスマートフォンアプリ「さくっと銭湯マップ」を活用したスタンプリーを実施。「プレミアム銭湯体験」を提供。新たな取組の可能性について川崎浴場組合連合会などと協議していくと答弁。

高齢者ふれあいデーセンター事業の継続を

銭湯を活用したミニデーサービス「高齢者ふれあいデーセンター」は、高齢者に大変喜ばれ、健康増進、介護予防、銭湯の振興にも役立っているのに、市は2017年度末で廃止としているが継続すべきと質問

▼健康福祉局長は「介護保険の改正で、総合事業が始まるに伴いこの事業は廃止するが、総合事業移行後の公衆浴場の活用について、川崎浴場組合連合会と連携しながら検討していく」と答弁。石田議員は参加者が多いので場所と回数の拡大を要望し、両局長に公衆衛生の観点から支援策の拡充を要望しました。

4カ所の公園で放射線量を測定

福島原発事故から5年。住民の皆さん3人と今年も測定しました。市基準は空間放射線量0・19マイクロシーベルト／時。放射線



原発事故発生から5年経過後の放射線量を測定

量は減少傾向がみられます。

放射線量の変化（単位：マイクロシーベルト）

	2011年	2014年 2/3	2016年 2/11
二子公園・かのこの像付近	0.164	0.10	0.05
溝の口北公園・滑り台下	0.150	0.07	0.05
坂戸公園・倉庫脇樹木の下	0.121	0.08	0.08
向ヶ丘東公園・落葉たまり	—	0.11	0.05

安心・安全のまちへ

◆坂戸踏切付近の南部沿線道路の安全対策

南部沿線道路の空家前の路側帯がないため、歩行者・自転車車が車に接触する危険性があり、昨年度、住民の方々と写真を提示して要望。

2月中旬、路側帯の拡張とグリーン舗装等が、東高津中からスーパー前まで施工されました。多方面から要望があったとのこと。



路側帯が拡張され、グリーン舗装

◆末長地内の第3京浜道路に至る道路舗装工事が始まりました。

昨年度、道路に段差や車両通行時の振動音が酷くなっているため道路舗装をという要望書提出に同行させていただいた力所の工事が始まりました。

◆坂戸公園の砂場の砂が補充されました 住民要望を道路公園センターに陳情

2月8日、住民の方々と新しい要望の陳情及び昨年陳情し未実施の件の進捗、「新年度予算要望を行ない対応したい」と回答のあった案件についての確認など道路公園センターと話し合いました。以下、実施済み及び調査中



道路公園センターと住民ちおの話し合い

以外の件についての回答です。

▼2016年度前期に実施予定

・大山街道大石橋の横断歩道の傷み力所の補修
・久地駅横スーパの向側側溝と歩道の凸凹の改修

▼2016年度予算要望したので決まれば16年度中に実施したい

・二子3丁目と東工大寮の間の狭隘な道路の舗装
・末長地内から第3京浜道路に至る道路補修

▼2017年度に向けて予算要望し、年次計画で実施したい。

・久地2丁目地内と平瀬川の測道の傷み等の改修
・諏訪2丁目、16丁目間から多摩沿線道路と交差する急勾配力所の路面の傷み
▼今後段階的な補修の検討を行いたい
・高津十字路から栄橋交差点までの補修

2016年度・学校改修等の主な予算〈高津地区〉

校舎の建築

・末長小学校校舎の増築工事

校舎の再生整備による改修工事

・久本小学校〈防水・外壁補修、トイレ改修、エレベータ設置、蓄電機能付太陽光発電〉
・東高津中学校〈防水・外壁補修、トイレ改修、エレベータ設置〉

体育館の再生整備による改修工事

・東高津中学校〈屋根・外壁補修、照明改修〉

・坂戸小学校〈屋根・外壁補修、内装改修、照明改修、断熱化、体育館付属棟増築〉
給食室の改修工事

・久本小学校（児童増加のため・単年度工事）
外壁改修工事に伴う設計
・高津高校